

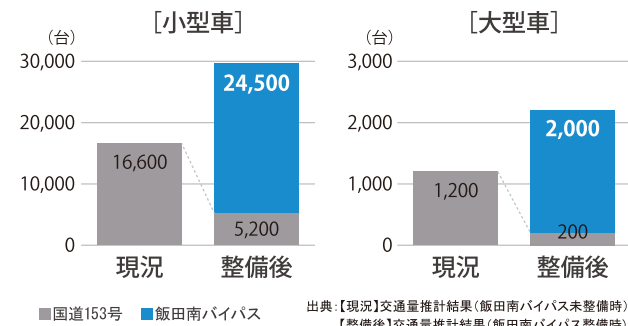
## 飯田南バイパスの効果

### 1 国道153号の混雑が緩和し、交通が円滑化

現道153号から飯田南バイパスへ交通が転換することにより、現道153号の混雑が緩和され、交通が円滑化されます。

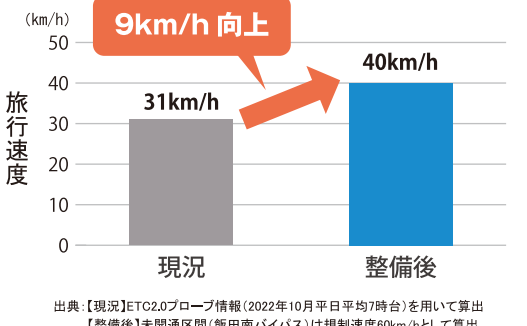
#### 交通転換

交通が飯田南バイパスに転換し、現道153号の通過交通量が減少します。



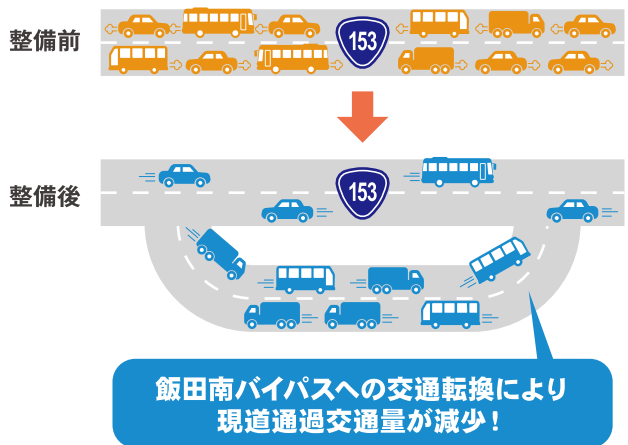
#### 速度向上

飯田市役所～阿智村役場の平均速度が向上します。



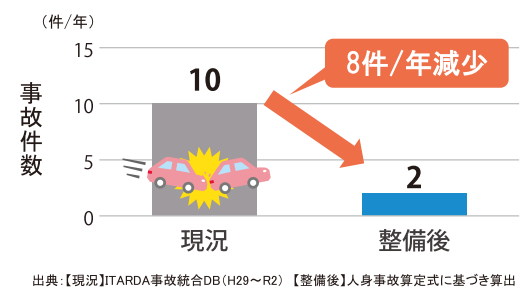
### 2 通学路の安全性が向上

飯田南バイパスと現道153号の利用用途の分離により、現道の通過交通量が減少し、通学路の安全性が向上します。



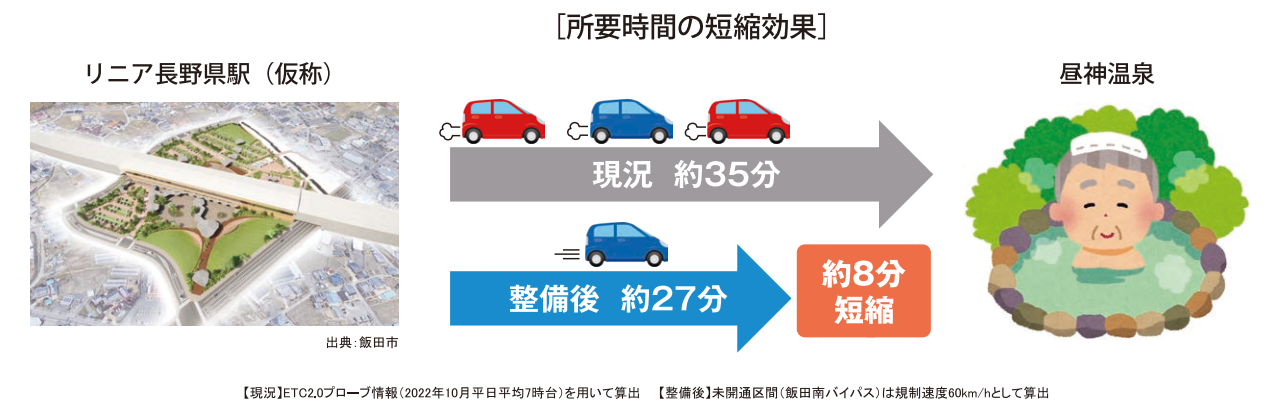
#### 事故減少

交通量が減ること、山本小学校北交差点～飯田IC西交差点の事故件数が減少します。



### 3 南北アクセス強化による物流・観光支援

リニア長野県駅(仮称)の南北アクセスを強化することで、下伊那地域内の観光交流人口の拡大や航空宇宙産業等の地域産業の物流を支援します。



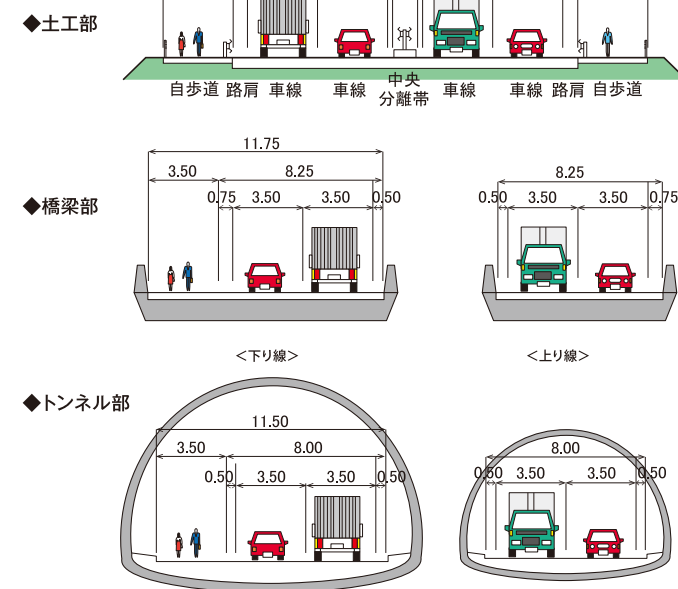
## 事業概要

国道153号飯田南バイパスは、飯田市竹佐を起点とし、飯田市北方を終点とする約4.5kmのバイパスです。国道153号の交通渋滞の緩和、交通事故の減少による通学路の安全確保、地域経済・地域観光支援を目的に計画されています。

### 計画概要

|      |          |
|------|----------|
| 起点   | 長野県飯田市竹佐 |
| 終点   | 長野県飯田市北方 |
| 延長   | 4.5km    |
| 道路規格 | 第3種2級    |
| 車線数  | 4車線      |
| 設計速度 | 60km/h   |

### 標準断面図

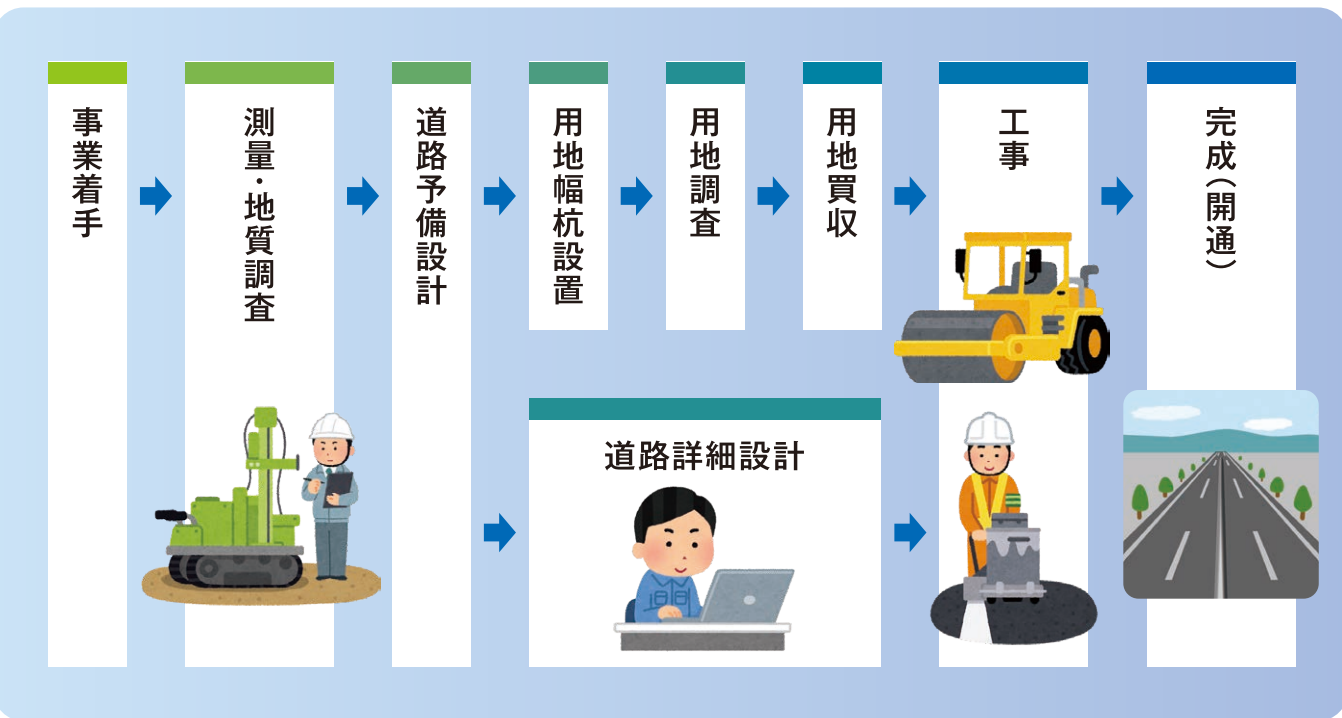


### 事業経緯

|         |        |
|---------|--------|
| 令和元年10月 | 計画段階評価 |
| 令和4年11月 | 都市計画決定 |
| 令和5年4月  | 新規事業化  |

## 道路整備の流れ

道路整備に係る手順となります。その他必要な環境調査等を行っていきます。



国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所

長野県飯田市東栄町3350  
TEL 0265-53-7200  
URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>

事務所概要・所在地



# 飯田南バイパス



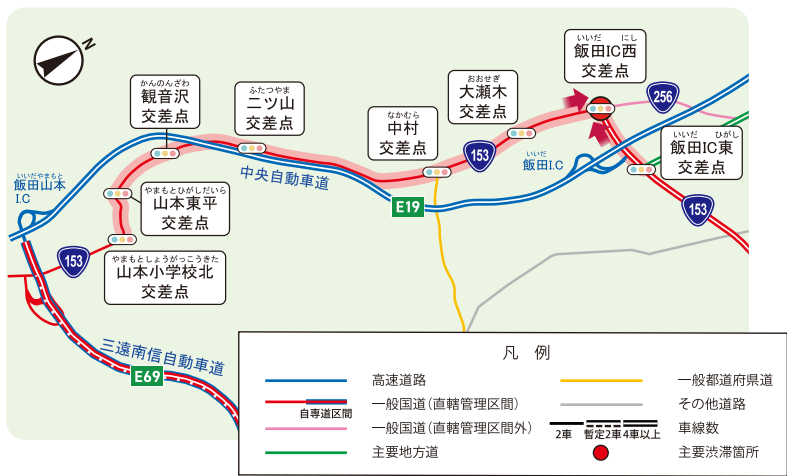
国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所



現道の課題

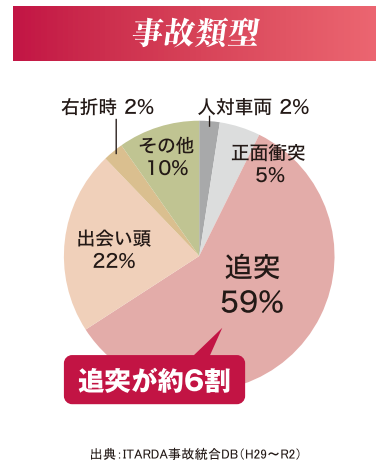
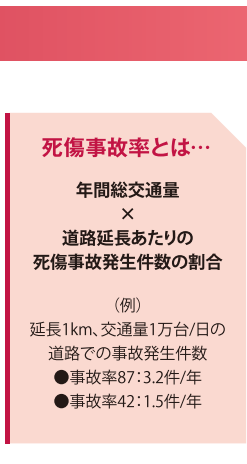
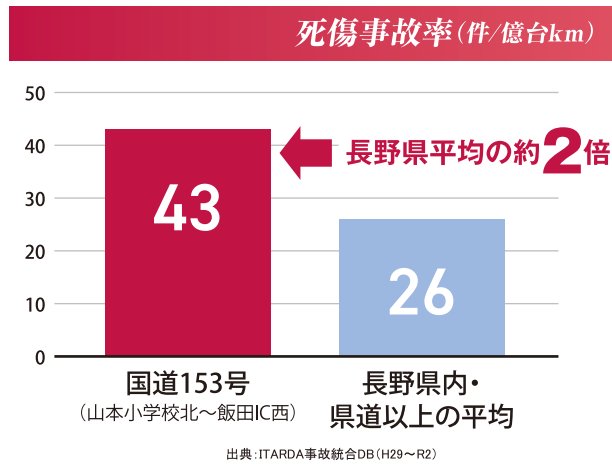
1 渋滞

国道153号は、生活交通と通過交通が混在し、特に飯田IC西交差点付近では、朝夕を中心に渋滞が発生しています。



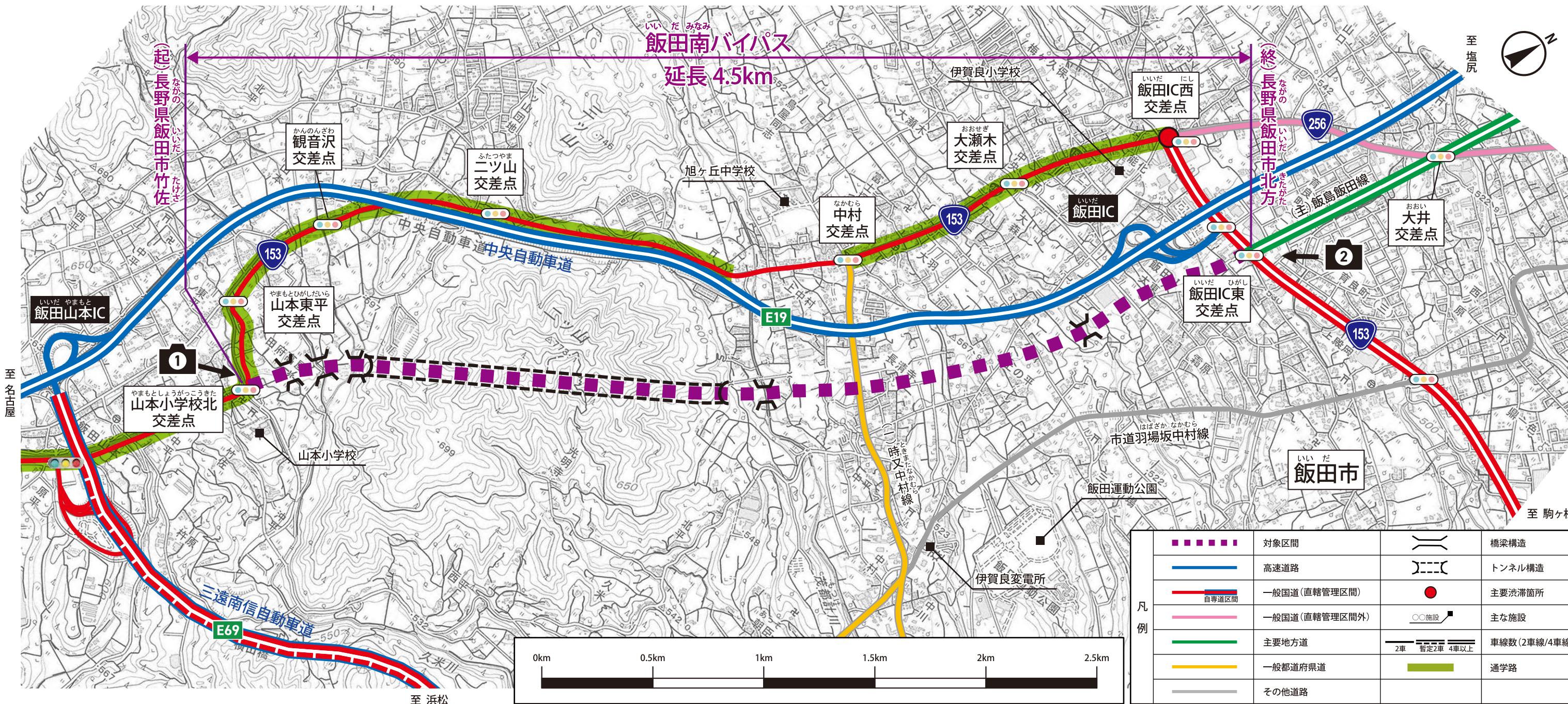
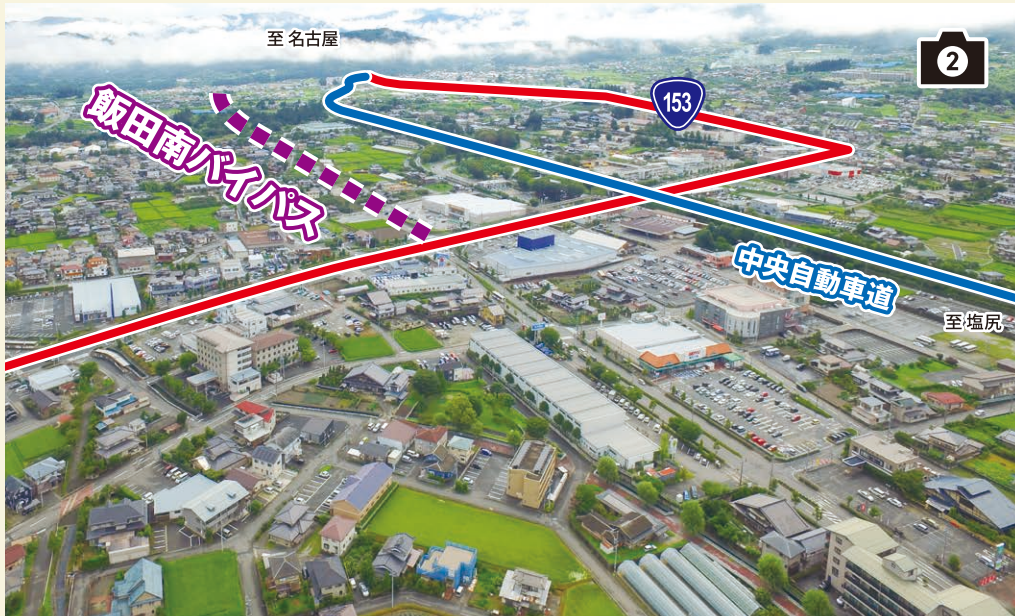
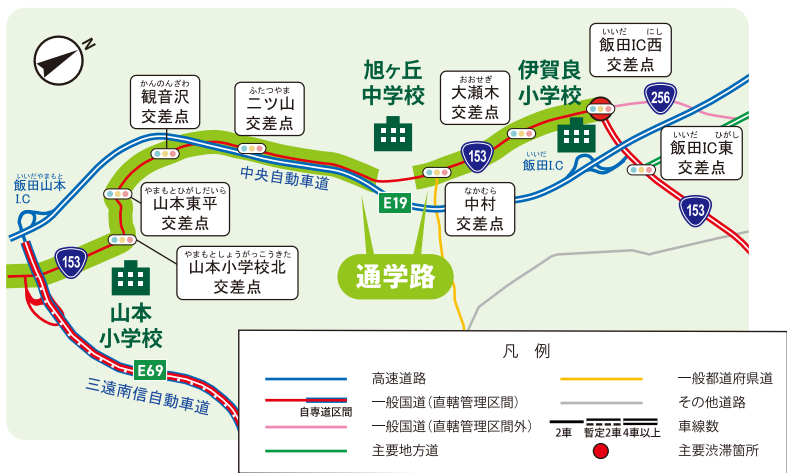
2 事故

バイパスと並行する国道153号では、死傷事故率が長野県平均の約2倍となっています。また、渋滞が原因の追突事故が多く起きています。



3 狭い歩道空間

国道153号には歩道が狭い箇所があり、通学児童など歩行者の安全性に課題があります。



|    |  |               |  |              |
|----|--|---------------|--|--------------|
| 凡例 |  | 対象区間          |  | 橋梁構造         |
|    |  | 高速道路          |  | トンネル構造       |
|    |  | 一般国道(直轄管理区間)  |  | 主要渋滞箇所       |
|    |  | 一般国道(直轄管理区間外) |  | 主な施設         |
|    |  | 主要地方道         |  | 車線数(2車線/4車線) |
|    |  | 一般都道府県道       |  | 通学路          |
|    |  | その他道路         |  |              |